

■「健康増進」「食育」の総合的な計画を策定します

近年、生活習慣や食生活の変化に伴い、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が増加し、これらに起因したとみられる認知症や要介護者が増えています。

このような状況を踏まえ、妊娠期から高齢期までの7つのライフステージに対し、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養」「飲酒」「喫煙」「歯・口腔の健康」の分野ごとに、健康で自立した生活の維持・充実に図るために「健康増進」と「食育」に主眼をおいた総合的な計画の策定に取り組んでいきます。



■「桂川町地域福祉計画」「男女共同参画基本計画」

「桂川町地域福祉計画」及び「男女共同参画基本計画」の策定については、それぞれ策定協議を行ってきた。今後は、計画に基づき、本町における地域福祉及び男女共同参画推進に関する関連事業などの実施に努めるとともに、男女共同参画に関する条例の制定に向けて取り組んでいきます。



■「第2期障がい者計画」を策定します

平成18年4月に施行された「障害者自立支援法」に基づき、平成19年度から28年度までの10年間を対象期間とした「第1期障がい者計画」を策定し、施策の推進を図ってきました。平成28年度は第1期計画の最終年度となりますので、現行の制度及び現状を踏まえて「第2期障がい者計画」の策定に取り組んでいきます。

■プレミアム付き商品券

平成27年度のプレミアム付き商品券は、昨年の7月と9月の2回に分けて販売しましたところ、購入者の数は延べ1,485人で、このうち、約7割が桂川町在住の方でした。

プレミアム分を併せた総額1億5,600万円の商品券のうち、使用期間の昨年末までに1億5,580万2千円が換金され、換金率は99.87%となっています。

なお、平成28年度については、国、県等の動向を見ながら商工会等と協議を行い、検討してまいります。

■水道事業施設の更新計画

水道事業施設の更新基本計画については、町全体の将来の水需要予測を行うとともに浄水場の機械・設備を診断し、配水池及び配水管などの施設を含めた水道施設の将来構想を立てて、中長期的な視点から更新計画の策定に取り組みます。

■桂川町共同作業所の施設更新

土師地区にある桂川町共同作業所（ライスセンター）については、老朽化が著しいため早急な施設の更新が必要な状況です。

今回、福岡嘉穂農業協同組合が事業主体となり、国の補助事業として施設更新を実施する予定です。

■農業振興への取り組み

農業委員会では、平成27年度に実施した機集積支援事業による農地の利用状況調査や農地台帳の整備などに継続して取り組んでいきます。

また、担い手への農地集積・集約化を促進するための環境整備を図り、農業の生産性向上と農業構造改革の推進に努めます。